

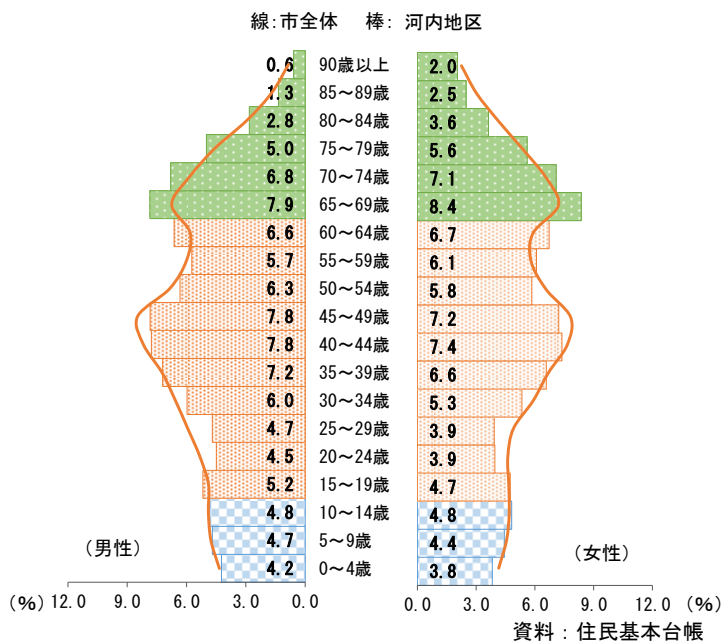
5 河内地区

(1) 地域資源・生活環境の状況

ア 地域資源・生活環境の状況

- ・総人口：35,546人（男性17,768人，女性17,778人）
 - ・世帯数：14,078世帯（1世帯当たり2.52人）
 - ・国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者数：12,808人
 - ・高齢化率：26.8%（市全体24.5%）
 - ・要介護認定率：12.8%（市全体15.6%）
- 資料：住民基本台帳人口（H30.9.30）等

図Ⅱ-1-1 性別・5歳階級別人口（H30.9.30）



図Ⅱ-1-2 年齢3区分別構成比（H30.9.30）

	地区	市全体
15歳未満	13.4%	13.6%
15～64歳	59.8%	61.9%
65歳以上	26.8%	24.5%

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-1-3 人口指数（H30.9.30）

	地区	市全体
従属人口指数	67.2	61.6
老年人口指数	44.8	40.1
年少人口指数	22.4	21.5
老年化指数	199.9	186.4

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-1-4 産業別就業人口構成比（H27）

	地区	市全体
第1次産業	4.2%	2.6%
第2次産業	30.1%	26.8%
第3次産業	65.6%	70.6%

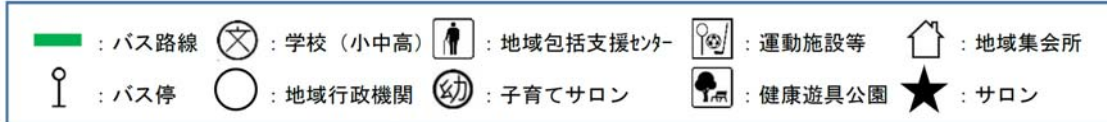
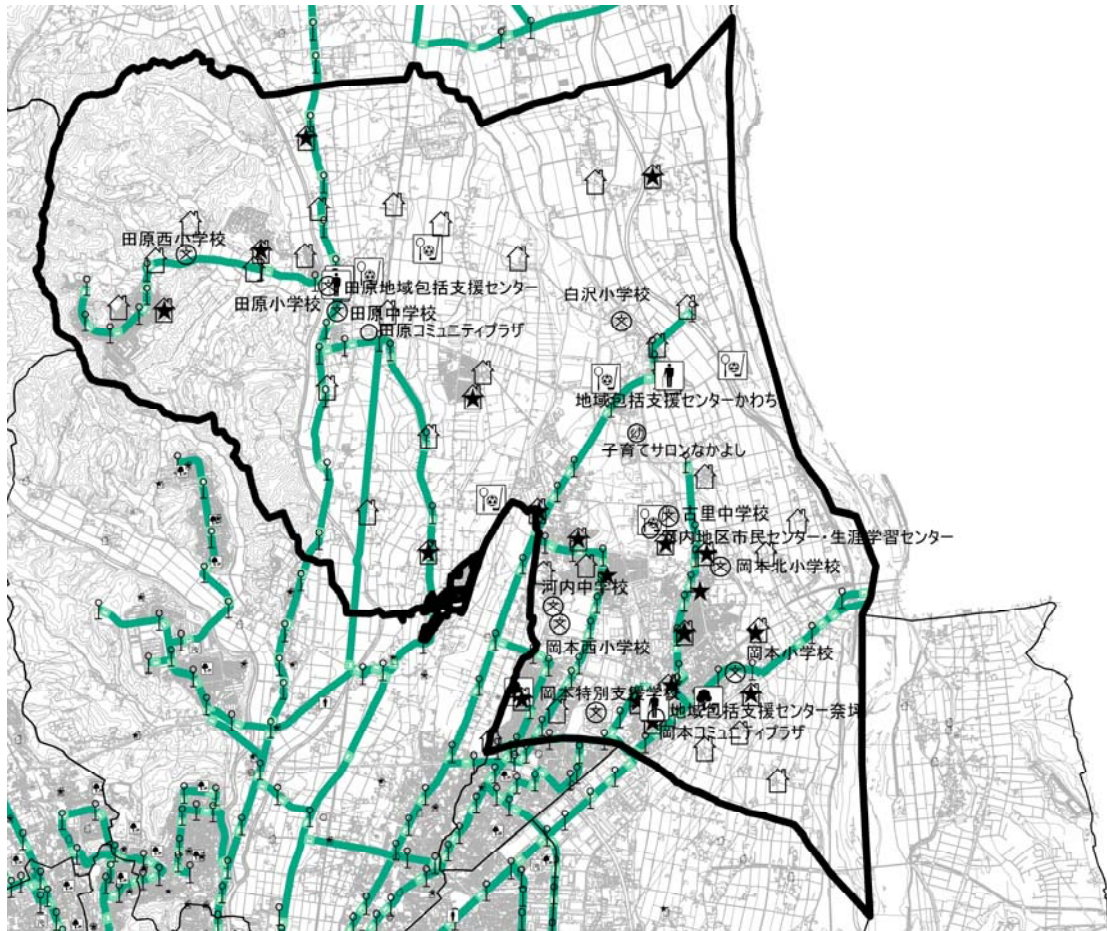
資料：平成27年国勢調査

イ 地域組織・活動の状況

自治会	自治会数	51自治会
	加入世帯数	9,501世帯
安全・安心に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ・環境点検 ・自転車教室 ・青色回転灯実施者講習会 ・交通安全総ぐるみ運動 ・地区自主防災会等を中心とした防災訓練の実施 	
スポーツ行事	5月：自治会対抗スポーツ大会 10月：かわちハートフル体育祭	
地区イベント	4月：かわち桜づつみでお花見 5月：花いっぱい運動 7月：市民総ぐるみ環境点検活動 8月：サギソウの展示と朝市，河内地区防災訓練 9月：わくわくフェスティバル in かわち，河内文化のつどい 11月：かわちふるさとまつり 12月：おいちようハートフル演芸祭，クリスマスコンサート	

資料：令和元年度宇都宮市みんなでまちづくり課地域支援データ

ウ 地域資源マップ



地域資源			
バス路線 (本数)	311 本	運動施設等	6 施設
バス停	68 箇所	健康遊具公園	3 箇所
駅	1 駅	地域集会所	46 箇所
学校 (小中高)	10 校	ふれあい・いきいきサロン	25 箇所
地域行政機関等	3 施設	スーパー・ドラッグストア	9 店舗
地域包括支援センター	3 施設	病院・診療所	22 施設
子育てサロン	1 施設	歯科診療所	15 施設

【地域の質的状況】

- ・ 河内地区は、市街化区域と市街化調整区域が混在している地域であり、西側は、山や田畑が広がり、住宅団地が点在し、東側は大規模な住宅団地が広がっている。東側は鬼怒川を境にさくら市・高根沢町に隣接している。
- ・ 国道4号線が南部を通り、県道氏家宇都宮線（白沢街道）及び主要地方道藤原宇都宮線（田原街道）など、県道8路線及び各市道が生活関連道路として機能している。
- ・ スーパーやドラッグストア、診療所、運動施設などが複数存在し、生活の利便性が高い。
- ・ 南東部にはJR宇都宮線の岡本駅があるほか、平成27年より、地域内交通「さぎそう号」が区内を運行し、公共交通の利便性を高めている。

資料：宇都宮市都市計画課・公園管理課・交通政策課(平成30年度)

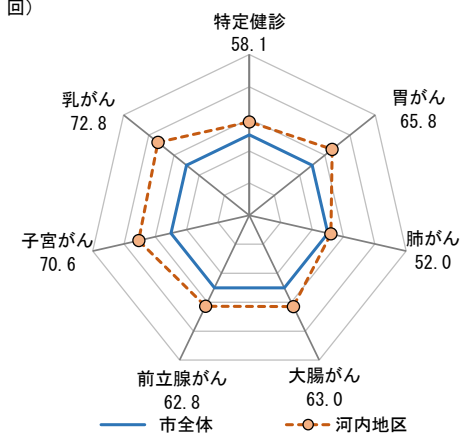
(2) 健診・医療・介護 (KDB 等)

ア 健診の状況 (※市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

(※①・③・④は市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

① 特定健診等受診率 (大きいほど良い)

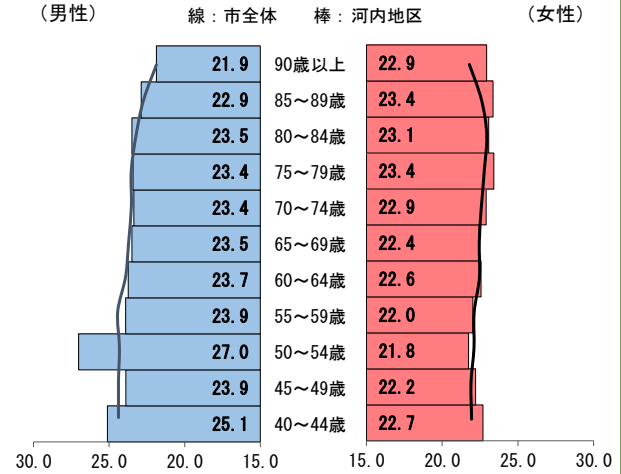
(対象) 特定健診：国民健康保険被保険者
胃・肺・大腸がん：40歳以上
前立腺がん：50歳以上 (男性のみ)
子宮がん：20歳以上 (女性のみ)
乳がん：30歳以上 (女性のみ) (40歳以上は2年に1回)



資料：平成29年度KDB等データ

② BMI (年齢層別平均値)

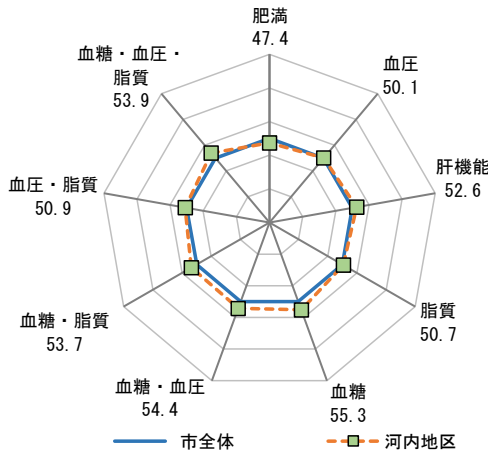
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

③ 生活習慣病リスク保有率 (小さいほど良い)

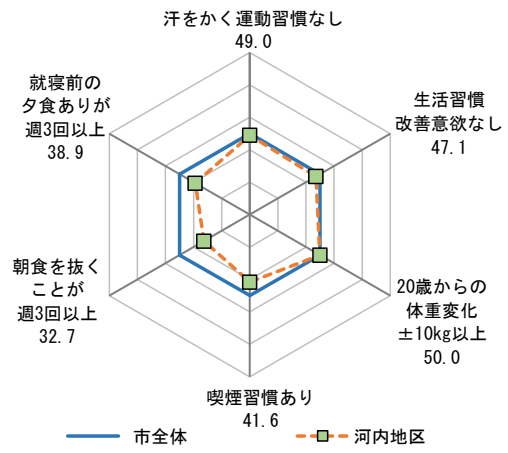
(対象) 国民健康保険被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

④ 行動特性 (小さいほど良い)

(対象) 国民健康保険被保険者

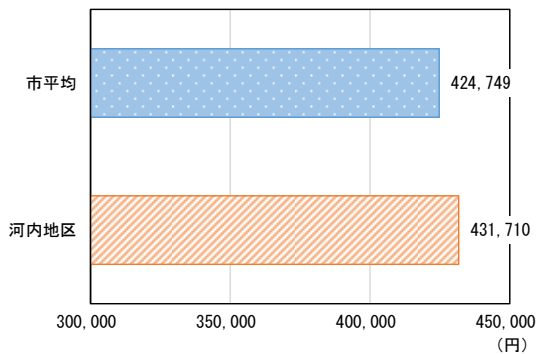


資料：平成29年度KDBデータ

イ 医療の状況

① 1人当たり年間医療費等

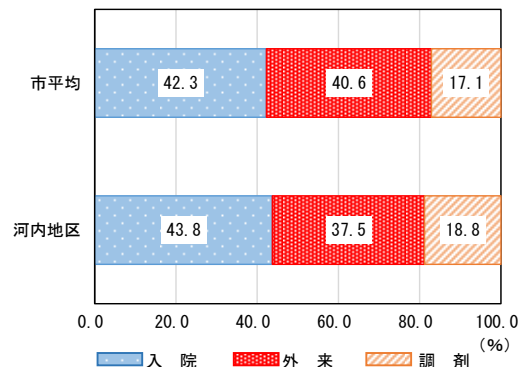
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

② 入院・外来・調剤別医療費の割合

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

③ 医療費の内訳（構成比）

	地区	市全体
糖尿病	4.97% (↑)	4.21%
高血圧症	4.60% (=)	4.34%
脂質異常症	3.98% (=)	3.65%
高尿酸血症	0.11% (=)	0.09%
脂肪肝	0.47% (=)	0.38%
動脈硬化症	0.35% (=)	0.33%
脳出血	0.32% (=)	0.40%
脳梗塞	1.55% (=)	1.71%

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

	地区	市全体
狭心症	3.12% (↓)	3.64%
心筋梗塞	0.82% (=)	1.02%
がん	9.50% (↑)	8.80%
筋・骨格	9.11% (↓)	10.49%
精神	2.26% (=)	2.17%
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.21% (=)	0.25%
慢性腎不全	5.40% (↓)	8.26%

資料：平成 29 年度 KDB データ

市全体との差が±0.5%以内：(=)，市全体との差が0.5%より高い(↑)，低い(↓)

ウ 介護の状況

① 基本情報

(対象) 65 歳以上

	地区	(市全体)
1号被保険者数	9,525 人	
認定者数	1,217 人	15.6%
認定率	12.8%	

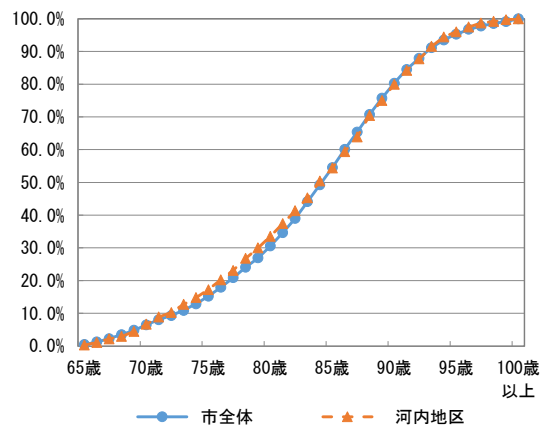
【内訳】	人数	構成比		
			人数	構成比
要支援	要支援 1	150 人	29.8% (↓)	30.9%
	要支援 2	213 人		
要介護	要介護 1	204 人	36.6% (↑)	34.1%
	要介護 2	241 人		
	要介護 3	162 人	33.6% (↓)	35.0%
	要介護 4	134 人		
	要介護 5	113 人		

市全体との差が±1.0%以内：(=)，市全体との差が1.0%より高い(↑)，低い(↓)

資料：平成 29 年度宇都宮市高齢福祉課

② 年齢分布（累計）

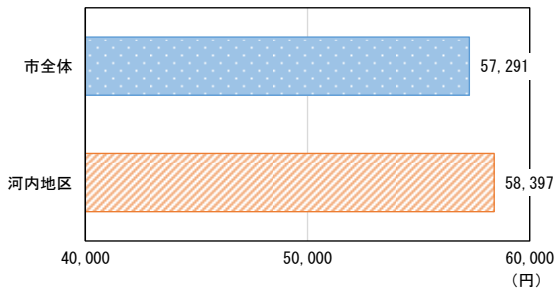
(対象) 65 歳以上



資料：平成 29 年度宇都宮市高齢福祉課

③ 1件当たり介護給付月額

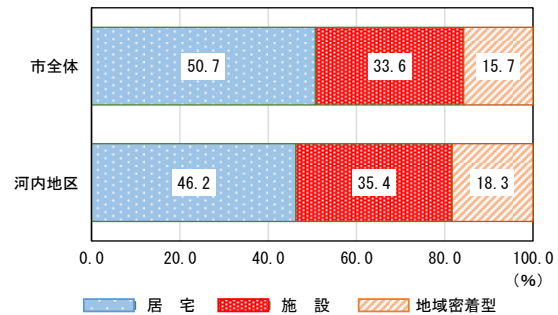
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成 29 年度 KDB データ

④ サービス別介護給付額の割合

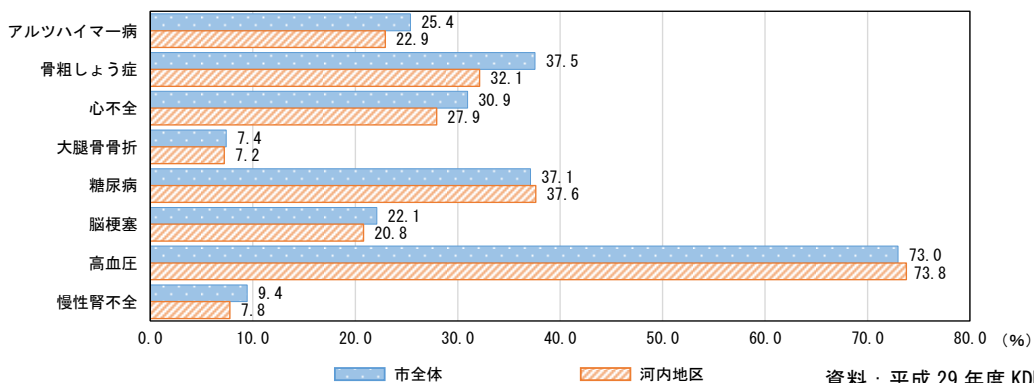
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成 29 年度 KDB データ

⑤ 認定者の有病率

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

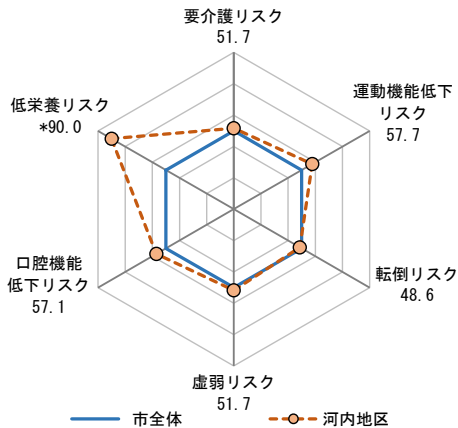


資料：平成 29 年度 KDB データ

(3) 生活習慣・社会参加

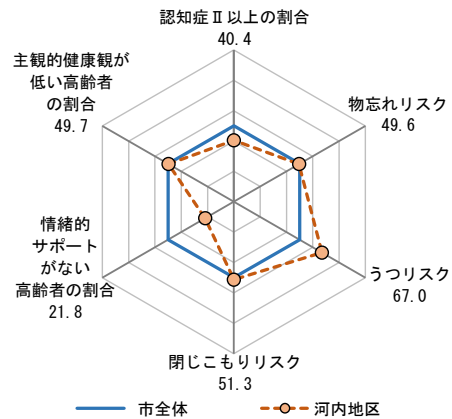
(※市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

① 要支援・要介護リスク (小さいほど良い)



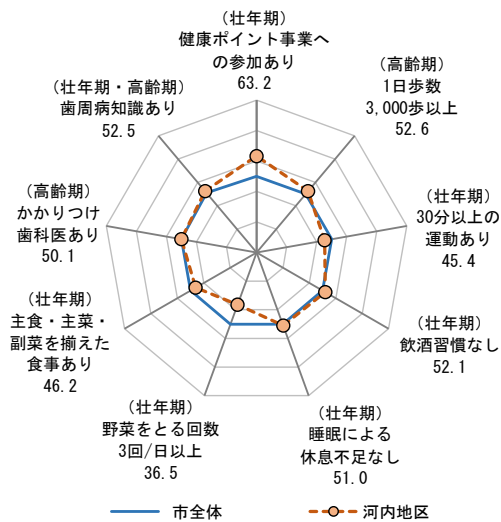
資料：令和元年健康意識アンケート調査 (高齢期)

② 認知症リスク等 (小さいほど良い)



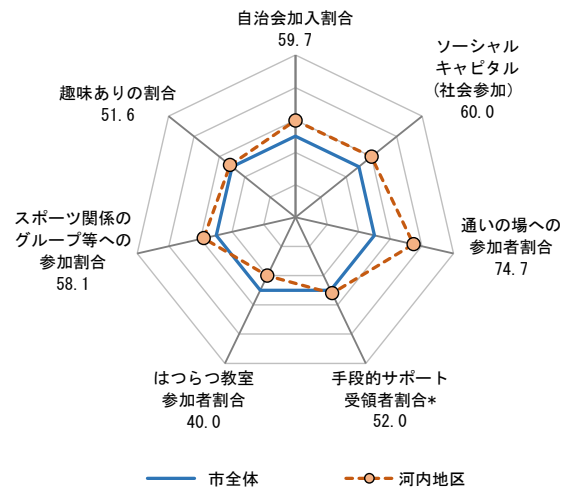
資料：令和元年健康意識アンケート調査 (高齢期)・宇都宮市高齢福祉課データ

③ 生活習慣 (大きいほど良い)



資料：令和元年健康意識アンケート調査

④ 社会参加・社会的ネットワーク (大きいほど良い)



資料：令和元年健康意識アンケート調査 (高齢期)

手段的サポート受領者割合*：看病や世話をしてくれる人がいる高齢者の割合

(4) 健康度の状況 (大きいほど良い)

P. 14 参照

① 介護健康度

12.63点/20点
[9位/39地区]



② 生活習慣健康度

13.17点/25点
[32位/39地区]

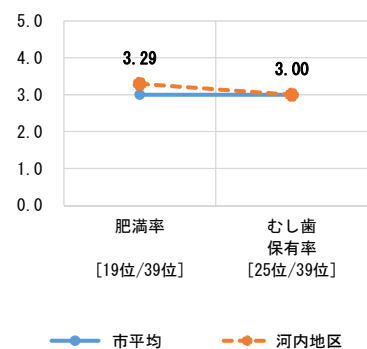
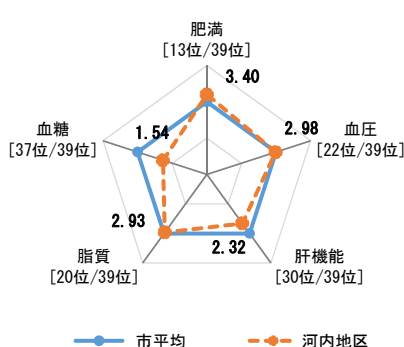
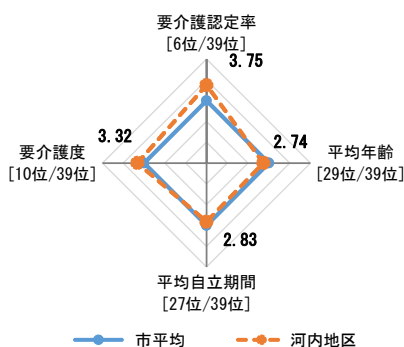


③ 子ども健康度

6.29点/10点
[19位/39地区]



[関連指標]



※各関連指標は全市を3点とした場合の値、市平均より健康度が高い：😊 低い：😞

(5) 地域診断

ア データからみる地域の状況

【地域資源・生活環境】

- ・ 高齢化率は、市全体に比べてやや高い。
- ・ 産業別就業人口構成比は、市全体に比べて「第2次産業」の占める割合が高い。
- ・ 地区防災訓練のほか、体育祭、地域文化祭、かわちふるさとまつりの開催など、地域活動が盛んな地域である。

【健診・医療・介護】

- ・ 特定健診等受診率は、市全体に比べて「乳がん」「子宮がん」は極めて高く、「胃がん」「大腸がん」「前立腺がん」は特に高い。
- ・ BMIは、市全体に比べて「50～54歳」の男性が高い。
- ・ 生活習慣病リスク保有率は、市全体に比べて「血糖」は高く、「血糖・血圧」「血糖・血圧・脂質」はやや高い。
- ・ 1人当たり年間医療費の内訳は、市全体に比べて「糖尿病」「がん」がやや高い。
- ・ 介護認定率は、市全体に比べて低い。

【生活習慣・社会参加】

- ・ 要支援・要介護リスクは、市全体に比べて「低栄養リスク」は極めて高く、「運動機能低下リスク」「口腔機能低下リスク」は高い。
- ・ 認知症リスク等は、市全体に比べて「うつリスク」が特に高いが、「情緒的サポートがない高齢者の割合」は極めて低い。
- ・ 生活習慣は、市全体に比べて「健康ポイント事業への参加あり」が特に高く、「野菜をとる回数3回/日以上」は特に低い。
- ・ 社会参加・社会的ネットワークは、市全体に比べて「通いの場への参加者割合」は極めて高く、「ソーシャルキャピタル（社会参加）」は特に高く、「自治会加入割合」は高い。

【健康度】

- ・ 介護健康度は、「要介護認定率」の点数は市平均に比べて高く、「平均年齢」「平均自立期間」「要介護度」は同等である。
- ・ 生活習慣病健康度は、「血糖」の点数は市平均に比べて特に低く、「肝機能」も低い。
- ・ 子ども健康度は、「肥満率」「むし歯保有率」の点数は市平均と同等である。

イ 地域の課題

- ・ 河内地区においては、市全体に比べて高齢化率がやや高く、高齢期の「低栄養リスク」や「運動機能低下リスク」「口腔機能低下リスク」が高いことから、高齢期の健康の保持増進、介護予防を進めるため、栄養や口腔の健康に関する正しい知識の普及を行うなどの栄養改善等の取組が必要である。
- ・ 生活習慣病リスク保有率は、市全体に比べて「血糖」が高く、1人当たりの年間医療費の内訳は、「糖尿病」が高くなっている。生活習慣は、「野菜をとる回数3回/日以上」が低い、「健康ポイント事業への参加あり」は高く健康に関心があることから、食生活改善推進員とともに食生活を含めた生活習慣改善を働きかけ、糖尿病発症予防に取り組んでいく必要がある。
- ・ 高齢化率はやや高いが、要介護認定率は低くなっている。これらの要因としては、ソーシャルキャピタルが高いこと、情緒的サポート提供割合が高いことなどが影響していることが考えられる。引き続き、地域の活動やサポート体制を維持するとともに、こうした社会参加や社会的ネットワークを活用し、介護予防や生活習慣病の予防を図る必要がある。